

令和 6 年度 江別保健所における自殺対策の取り組み 状況について

江別保健所健康推進課

主査（健康危機管理） 富山 愛香

令和5年度自殺予防対策連絡会にて 把握された課題

- 自殺未遂者の家族への対応に悩む
 - ・戸惑う家族の相談先がわからない、または家族等に注目して欲しくODや入水する人、元々家族との関係性が希薄
- 自殺未遂を繰り返し、ODの際の服薬量が増え救急時の対応でようやく相談につながる学生が散見される
 - ・大学ではリスク評価し個別対応や安心できる場づくりなど工夫をしているが、把握していない学生の自殺企図があり苦慮している。
- 精神科医療へのつながりにくさ
 - ・予約が取りにくい、若年者のみで受診しにくい、グレーゾーンの方の受診に迷う

令和 6 年度 実施事業

1. 自殺対策における江別保健所管内大学情報交換会（新規）
2. 自殺未遂者等へ配布していただくカードの作成（新規）
3. 江別保健所自殺予防対策連絡会

1 江別保健所管内大学情報交換会の開催

- ・当所管内には 6 ヶ所の私立大学が設置されている、各大学に数千人規模の学生が在籍している
- ・複雑化・多様化する学生への支援をきめ細やかに対応しているものの、かなり難渋・苦慮している

⇒大学同士が集まり、主にメンタルヘルスの課題を持つ学生への支援等について情報交換の場を設定

1 江別保健所管内大学情報交換会の開催

◆開催日時：令和6年9月10日（火） 10：00～12：00

◆参加者：江別保健所管内6ヶ所の大学の学生支援担当者
江別保健所管内4市町村の保健師

◆内 容：

- ・報告①江別保健所管内の自殺対策の取組について～若年層対策～

報告者：江別保健所保健師

- ・報告②自殺対策に対する精神科医療の実際～児童思春期外来の立場から

報告者：石狩ファミリアホスピタル精神保健福祉士

- ・情報交換

第1回情報交換会（結果）

- 医療機関の報告において事例紹介があり、具体的なイメージを共有することにつながった
- 各大学の取組状況について情報交換できた
 - ・対応への困り感～多量服薬に対する考え方（SNSで発信、一部の学生にとってはステータスになっている）
 - ・他大学の取組について情報交換～土・日・祝の対応等含めた学内の対応危機マニュアル、連携における個人情報の取扱い、学生が学内で休憩できるスペースの設置 等

第2回情報交換会（開催概要）

◆開催日時：令和7年1月22日（水） 13：30～16：30

◆参加者：江別保健所管内6ヶ所の大学の学生支援担当者
江別保健所管内4市町村の保健師

◆内 容：

- ・講義「思春期・青年期のこころの特徴～私たちが理解していくために」

講師：北海道立精神保健福祉センター医師

- ・事例検討「市販薬の依存傾向と希死念慮のある学生への対応」

内容：本人・家族のアセスメント（対象理解）、支援方針の検討

助言者：北海道立精神保健福祉センター医師

第2回情報交換会（結果）

■思春期・青年期に発症しやすい精神疾患だけではなく、思春期特有の心性やZ世代の特徴についてとてもわかりやすい内容の講義だった

→「イト^どキの若者」の理解につながった

■市販薬の乱用を繰り返す事例について、本人や家族の状況を具体的にイメージしながら検討した

→「大学から見た視点」と「地域から見た視点」に違いがあり、相互理解につながった

支援者が一人で抱え込みすぎないことが大事と認識できた

リスクのある学生（潜在している学生）への支援介入は

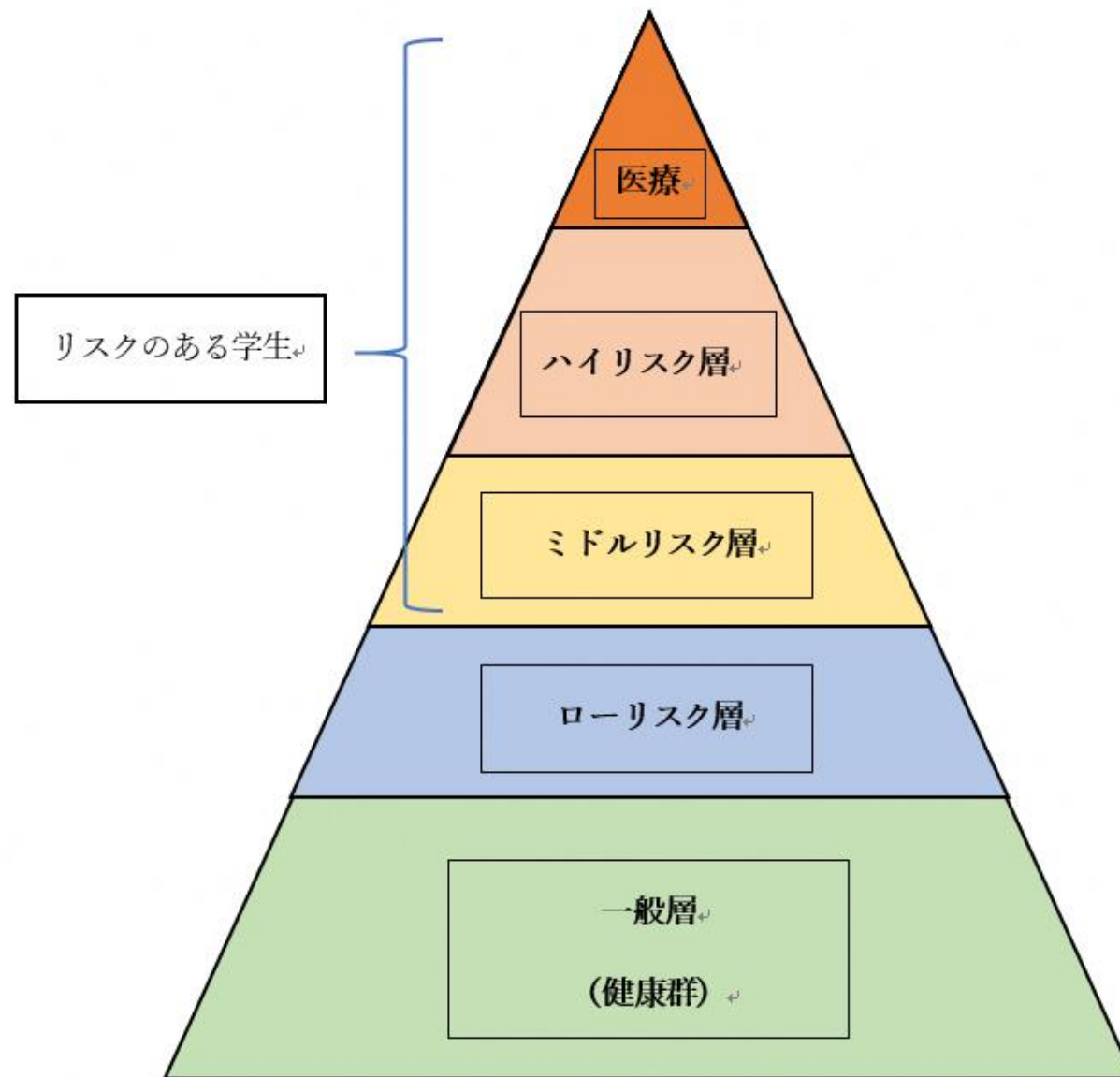
ハイリスク支援
＋
ポピュレーション支援

【ハイリスク支援】

つながっているハイリスク学生
→専門職による丁寧な支援

【ポピュレーション支援】

リスクのある学生
（潜在学生を含む）
→専門職以外の教員や学生同士の支援



2 自殺未遂者等へ配付していただくカードの作成

- ◎自殺未遂者は自殺の「超ハイリスク者」
- ◎相談につながって欲しいが、把握は困難
- ◎救急隊は気になるが、現場で声をかけることの難しさがある

【工夫点】

- ・渡しやすいように、名刺サイズにした
- ・電話が苦手な若年層向けに、LINE相談をおもて面に記載した
- ・相談先一覧は相談種別ごとに分けて記載した

北海道
解決の糸口を一緒に探しましょう

北海道こころの健康LINE相談

平日・土・祝 18時～22時
日 18時～翌朝6時

※友だち登録をしてご利用ください

北海道いのちの電話 24時間対応
(011) 231-4343

いのち
支える

まずは相談してみましょう！

疲れた…
どうしたら良いかわからない
生きる意味がわからない
消えてしまいたい

相談先一覧はこちら

R6.11 北海道江別保健所作成

3 江別保健所自殺予防対策連絡会（開催概要）

- 開催日時：令和6年11月14日（木）13:30～15:30
- 出席機関 19機関（行政、消防、医療機関、相談機関等）
- 内容
 - （1）保健所からの実践報告
 - （2）各市町村の自殺対策行動計画に基づく取組状況
 - （3）意見交換（グループワーク）

テーマ

『自殺予防対策』について各所属に期待される機能と役割を考える

3 江別保健所自殺予防対策連絡会（結果）

- 管内における自殺の実態、保健所や各市町村の取組状況を共有・確認できた
 - 各現場の「リアルな声」を教えていただいた
 - ・消防：未遂者への対応として身体状況を重視しているが、本人と家族の意見の違い（どうしても連れて行きたい家族とどうしても行きたくない本人）により現場での対応時間が長くなるなど、対応に苦慮している
 - ・大学：学業に対する助言はできても、対人面や家族関係についてはどこまで踏み込んで良いか・・・
 - ・複雑な背景（愛着問題、親子関係）＝生きづらさにつながっている
 - ・「相談しようと思わなかった」という相談希求力の低さがある
- 小さい頃から「人を頼って良い」という教育が重要、対面が苦手な人は「アバター」を活用する、普及啓発やゲートキーパー研修の継続